



(撮影 佐藤孝治)

中野 宏一 先生 近影

中野宏一先生退職記念号に寄せて

経済学部長 兼 子 良 夫

中野宏一先生は、2013年3月31日付けをもって本学を定年退職され、同年4月1日付けで本学名誉教授とされました。

先生は小樽商科大学を卒業後に、早稲田大学大学院商学研究科貿易経営論専攻に進学されました。その後先生は1977年に本学に着任され、以来専任教員として36年にわたって経済学部での研究と教育に携わって来られました。

先生の専攻分野は「貿易商務論」ですが、伝統的な貿易商務論分野の研究にマーケティング研究を導入して、独自の「貿易マーケティング」研究を確立されました。その具体的な成果は、ご著書『貿易マーケティング・チャンネル論』に結実されましたが、先生の精力的な研究成果の全容は、本書に掲載の研究業績一覧で一目瞭然です。これらの研究が学会で認められて、先生は「日本貿易学会」の学会誌編集長・学会賞選考委員長・理事や「国際ビジネスコミュニケーション学会」の国内渉外委員長・理事を長く勤められました。

国際港都・横浜に立地する神奈川大学の歴史的な看板の一つが経済学部の貿易研究であるため、先生は大学を代表してしばしば広報誌に登場し、また高校生・社会人対象講座の講師を担当されました。また、日本貿易振興機構（JETRO）や横浜税関の委員を務められ、文字通りに神奈川大学の看板教授として活躍されました。

特筆すべきは、先生の講義とゼミナールに対する人気の高さです。「中野ゼミ生は厳しい指導を受ける」という声は全学的に広まっていましたが、それでも入ゼミを希望する学生が多く集まり、前途有為な多くの人材を輩出されました。その教育功績により、先生は「2012年度 グッドティーチャー賞」（神奈川大学）を受賞されております。

先生は、課外活動にも注力なされました。課外活動などの責任者である神奈川大学学生部長や日本私立大学協会学生生活指導専門委員も務められました。さらに、「硬式野球部部長代行」や箱根駅伝に毎年出場している「陸上競技部部長」も務められ、まさに正課教育と正課外教育という大学教育の両面における指導者としてご活躍なされました。

姿勢正しく颯爽と歩かれる先生は、いつも若々しくてお元気です。聞くところによると、退職後にすでに新しい領域の新著を上梓されたとのこと。先生の益々のご活躍を心より祈念申し上げます。